



農薬依存しない農業を 地下水研究会が勉強会

宮古島地下水研究会（友利直樹、前里和洋、新城竜一共同代表）は1日、県農業共済組合宮古支所会議室で勉強会を行った。写真。講師を務めた友利共同代表が地下水保全のため化学農薬のみに依存しない農業への転換などを呼び掛けた。友利共同代表は同じ化学農薬を使い続けることに疑問を示し、地下水への影響を懸念して「効果が十分に期待できるか否か農家に情

報が提供されているのか。過剰な連続供給を見直す必要があるのではないか」と指摘した。

その上で化学農薬に依存しない天敵防除や輪作、抵抗性品種の利用、防虫ネットの活用などを組み合わせた総合的害虫・雑草管理（IPM）の普及が必要と主張。「化学農薬のみへの依存は様々なデメリットが見えないところで出てくる可能性がある」と訴えた。

宮 古 新 報

2023年(令和5年)2月3日 金曜日